暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

議 会 運 営 委 員 会 記 録

日	令和7年6月2日（月）（閉会中）			
時	休 憩 午前11時0分 開議（午前11時32分～午前11時43分） 午後1時6分 散会 （午前11時51分～午後1時0分）			
場 所	第1委員会室			
出席委員	中 島 賢 治	川 合 隆 史	須 藤 博 文	桜 井 秀 夫
	伊 藤 隆 広	柊 澤 洋 平	亀 井 琢 磨	田 畑 直 子
	盛 田 眞 弓	森 山 和 博	宇留間 又衛門	
正副議長	石 川 弘（議長） 麻 生 紀 雄（副議長）			
担当書記	石 黒 薫 子 岡 田 昌 樹			
説 明 員	副市長 大木 正人			
	総務局			
	総務局長 久我 千晶		総務課長 濱木 功	
	議会事務局			
	議会事務局長 香取 徹哉		議会事務局次長 寺崎 勝宣	
	総務課長 石井 克幸		議事課長 安西 雅樹	
	調査課長 松木 ゆうき			
協議案件	1 議案・発議について 2 請願について 3 陳情について 4 代表・一般質問について 5 特別委員長報告について 6 説明員について 7 意見書案について 8 運営日程案について 9 陳情第2号・千葉市議会の録画放映の対象会議の拡大を求める陳情			
そ の 他	議長挨拶			
委 員 長 中 島 賢 治				

午前11時0分開議

○委員長（中島賢治君） ただいまから議会運営委員会を開きます。

傍聴の皆様申し上げます。委員会傍聴に当たっては、委員会傍聴証に記載の注意事項を遵守いただきますようお願いいたします。

議長挨拶

○委員長（中島賢治君） 協議に先立ちまして、議長の御挨拶をお願いいたします。石川議長。

○議長（石川 弘君） 皆様、おはようございます。

開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

日頃から委員の皆様におかれましては、議会運営に御協力いただいておりますことを心から御礼申し上げます。

さて、6月5日に招集されます第2回定例会におきましては、市長選挙がありましたので、開会冒頭に神谷市長の挨拶と、各会派による代表質問が予定されているほか、常任委員等の改選や、専決処分、条例議案等の重要案件を御審議願うわけでございます。

委員の皆様方には、円滑な運営に格段の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会に当たりましての御挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（中島賢治君） ありがとうございます。

議案・発議について

○委員長（中島賢治君） それでは、協議を行います。

初めに、議案及び発議について、事務局より説明いたさせます。議会事務局次長。

○議会事務局次長 よろしくをお願いいたします。議案及び発議の取扱いにつきまして御説明申し上げます。

サイドボックスにございます資料1、配付書類の3ページをお開きいただければと存じます。着座にて失礼いたします。

今回提出されております議案は、28件でございます。市長提出議案27件。議員提出発議1件でございます。

市長提出議案の内訳につきましては、専決処分2件、予算案1件、条例案17件、一般議案7件となっております。

また、議員提出発議の1件は、千葉市動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正についてでございます。

付託先につきましては、議案・発議付託一覧表の左の欄に記載の委員会に付託いたしたいと存じます。

委員会別付託件数につきましては、4ページの欄外に記載してございます。総務委員会6件、保健消防委員会4件、環境経済委員会10件、教育未来委員会3件、都市建設委員会8件でございます。

議案及び発議の取扱いにつきましては、以上でございます。

○委員長（中島賢治君） ありがとうございます。

御質疑等があればお願いいたします。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（中島賢治君） ないようですので、以上のとおり決定いたします。

なお、定例会開会日に、共産党より提出された発議第6号の提案理由説明文をサイドブックに掲載いたしますので、御了承願います。

請願について

○委員長（中島賢治君） 次に、請願につきましては、資料1、配付書類5ページを御覧ください。

今回提出されました請願1件を、請願文書表に記載の委員会に付託いたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（中島賢治君） ないようですので、以上のとおり決定いたします。

陳情について

○委員長（中島賢治君） 次に、陳情につきましては、資料1、配付書類6ページを御覧ください。

今回提出されました陳情1件を陳情文書表に記載の委員会に、議長において付託いたしますので、御了承願います。

なお、資料1、配付書類8ページから9ページのとおり、陳情2件が継続審査となっておりますので、御承知お願います。

また、このほかに継続審査となっており、本委員会に付託されております、陳情第2号・千葉市議会の録画放映の対象会議の拡大を求める陳情につきましては、この後、最後に審査を行います。

代表・一般質問について

○委員長（中島賢治君） 次に、代表質問及び一般質問についてであります。まず、代表質問については、資料1、配付書類10ページに記載のとおり、通告者4名、通告時間3時間50分となっております。

また、一般質問につきましては、11ページから17ページまでに記載のとおり、通告者35名、通告時間13時間15分となっておりますので、御承知願います。

特別委員長報告について

○委員長（中島賢治君） 次に、大都市制度調査特別委員長報告及び防災・減災対策調査特別委員長報告につきましては、定例会初日の6月5日をお願いしたいと存じます。

説明員について

○委員長（中島賢治君） 次に、説明員につきましては、資料1、配付書類18ページを御覧く

ださい。

今定例会に出席する旨、議長に報告がありましたのは記載のとおりでありますので、御承知願います。

意見書案について

○委員長（中島賢治君） 次に、意見書案につきましては、システムに保存されている資料3、令和7年第2回定例会意見書案のとおりであります。

提出会派の説明をお願いいたします。

まず、共産党さんからお願いいたします。椛澤委員。

○委員（椛澤洋平君） それでは、よろしくをお願いいたします。

まず、ナンバー1でございます。高額療養費制度の自己負担限度額を据え置くよう求める意見書案であります。

高額療養費制度の見直しとしまして、政府は1か月当たりの自己負担限度額を段階的に引き上げる方針でありました。しかしながら、患者団体などからの要望を踏まえて、今年8月の引上げを一旦見送り、今後の制度の在り方について今秋までに再検討する方針となっております。

御承知のとおり、全国のがん患者の団体連合会が実施したアンケート等々では、自己負担限度額が引き上げられると治療ができなくなる、あるいは20代のがん患者で、これからまだまだ家族と共に生活をしていかなければならない、医療を必要としている人のために、どうかこれ以上負担を強くないでほしいなど、多くのがん患者が切実な事情とともに引上げ反対を訴えております。

現役世代の中には、当然ながら仕事や日常生活を続けながら、切迫した状況で毎月の医療費を支払い続けている患者とその家族が存在しております。特にこれは長期にわたって継続した治療を受けている患者、その家族にとって、自己負担限度額が引き上げられることで生活が成り立たなくなる、あるいは治療の継続を断念しなければならなくなる可能性が危惧されております。

よって、本市議会は国に対し、高額療養費制度の自己負担限度額を据え置くよう強く求めるものであります。

続きまして、ナンバー2、暮らしを守るために緊急に消費税を減税するよう求める意見書案になります。

消費税は御承知のとおり、低所得者ほど負担が大きくなりまして、また事業者にとっては消費税分を商品の価値に転嫁できなくても課税され、経営が赤字であっても納税義務が生じ得る税制でございます。そのため、物価高騰に苦しむ国民の暮らしと、同時に中小企業の事業活動を守るための緊急対策といたしまして、消費税率を引き下げる減税の効果は大きいものがございます。現に今年4月に実施された朝日新聞の世論調査でも、消費税を引き下げるほうがよいが59%で、維持するほうがよいの36%を大きく上回っておりまして、消費税減税は国民の一大要求となっております。

なお、減税の実施に当たっての財源でございますけれども、財務省は法人税率が引き下げられてきたにもかかわらず、設備投資や、あるいは賃金は増えていないとの分析を示しております。引下げの効果が薄い法人税率を、直近の段階的引上げ以前の水準であります28%に戻すな

ど、大企業や、あるいは富裕層の優遇税制を正して、応分の負担を求める税制改革を実施することで確保することは可能であります。

よって、本市議会は国に対し、暮らしを守るために緊急に消費税を減税するよう強く求めるものであります。

続きまして、ナンバー 3、物価上昇に見合う年金支給額の引上げを求める意見書案であります。

総務省が今年 4 月に公表いたしました消費者物価指数によりますと、2025 年 3 月の総合指数は前年同月比 3.2% の上昇でございます。国民生活への物価高騰の影響は深刻さを増しています。とりわけ米価の上昇が続く中で、年金を頼りに生活されている高齢者からは暮らしていくことができないとの悲鳴が上がっています。

そもそも、年金額を物価上昇より下回らせるマクロ経済スライドによって、第 2 次安倍政権以後の 13 年間で、公的年金は実質 8.6% 削減されております。これがなければ、現在月 10 万円の年金を受給している人は月 9,400 円、年間で 11 万円も多く年金を受給できていたこととなります。

まさに今、年金制度改革の御議論が進んでいますが、やはり現在 290 兆円と言われる、給付を 5 年分もため込んでいる巨額の年金積立金を年金の引上げに活用することや、あるいは高額所得者の保険料優遇を見直して応分の負担を求めることなどによって、マクロ経済スライドを見直すべきであります。年金を、物価の値上がりや、賃金上昇に追いつかせて引き上げ、現役世代にも減らない年金を保障することが持続可能な年金制度にとって重要でありまして、今こそ物価上昇に見合う年金への改革を進めるべきであると考えます。

よって、本市議会は国に対し、物価上昇に見合う年金支給額の引上げを強く求めるものであります。

続きまして、ナンバー 4、日本学術会議の改正法案の廃案を求める意見書案であります。

現行の日本学術会議法を廃止し、別の組織につくり変える日本学術会議法改正法案が、5 月 13 日、衆議院で可決したわけであります。この法案は、日本学術会議の歴代会長 6 氏の声明をはじめ、日本弁護士連合会などの多くの団体から、学術会議の独立性、あるいは自律性、自主性を奪い、政府の意向に従う組織へと変質させるものとの抗議や、廃案を求める声が相次いだものであります。

実際問題、2020 年、日本学術会議の会員候補 6 名に対しまして、当時の菅首相が任命を拒否する人事介入がありました。その理由についての説明責任が問われているわけでありますが、政府は日本学術会議を政府に従属する組織にするための法人化法案を提出したところであります。

かつて権力によって、都合の悪い学問あるいは科学は許せないとして行われてきた、こういった政治支配が戦争に直結した歴史を絶対に繰り返してはならないと考えます。

よって本市議会は国に対し、日本学術会議の改正法案の廃案を強く求めるものであります。

続いてナンバー 5、能動的サイバー防御法の廃止を求める意見書案になります。

サイバー攻撃による被害を防止するとして、国民がスマホやパソコンなどで送受信する通信情報を常時収集、監視するとともに、警察や自衛隊が疑わしい海外のコンピューターに侵入し、使用不能にすることを可能とする重要電子計算機に対する不正な行為による被害の防止に関する

る法律、いわゆる能動的サイバー防御法が5月16日に成立いたしましたところであります。

法の目的は、自治体も含まれます電気や水道、鉄道、航空、金融といった基幹インフラの事業者などへのサイバー攻撃による被害の防止とされているわけでありますが、重大な問題点、あるいは危険性が指摘されております。

第1に、憲法が保障する通信の秘密を侵害することであります。基幹インフラの事業者などは政府との協定に基づきまして、利用者との間で通信する情報を利用者の同意なく政府に提供することになります。政府が情報を恣意的に選別していないのか、あるいはサイバー攻撃とは無関係の情報を消去したかを確認する制度がないことは問題であります。また、収集した情報は、外国政府など第三者に提供可能でございまして、警察や自衛隊が自らの業務で使用することも可能であります。これは、かつて警察が風力発電事業に反対する市民の個人情報収集し、民間企業に提供したことを違法と断じた、いわゆる大垣事件判決をないがしろにするものであるという指摘もされております。

そして第2に、自衛隊と警察が憲法と国際法に反した先制攻撃に踏み込む危険性もあります。自衛隊と警察は、収集した情報に基づき、疑わしいと判断した海外のコンピューターに侵入し、使えなくする無害化措置が行えるということで、相手国の同意もなく疑いだけで無害化措置を行えば、重大な主権侵害、あるいは先制攻撃とみなされる危険性があります。警察が犯罪の処罰を超えた無害化措置を裁判所の令状なしに実施でき、警察の在り方も大きく変質することになり、監視・分析対象の拡大を懸念するものであります。

よって、本市議会は国に対し、能動的サイバー防御法の廃止を強く求めるものであります。

最後に、ナンバー6、刑事デジタル法の廃止を求める意見書案であります。

捜査機関が企業や個人に対しまして、スマートフォンやインターネット上の膨大な電子データの提供を罰則付きで命じることができる、情報通信技術の進展等に対応するための刑事訴訟法等の一部を改正する法律、いわゆる刑事デジタル法が5月16日に成立したところであります。

記録媒体の複写の手間なく、オンライン上で直接データそのものを取得できるようにするものでありまして、事業者に対しましては、捜査機関に提供したことを漏らさないよう義務づける秘密保持命令が可能となり、違反した場合の罰則も創設されます。

この法は、オンライン証人尋問や、盗聴の対象犯罪の拡大など、捜査機関の利便性や権限を拡大する一方で、被疑者や被告人の立場に置かれた市民がオンラインで弁護人と接見して、電子化された書類を授受する権利を認めていないなど、国民の権利保障や弁護活動に資する制度は盛り込んでいないということであります。やはり国民の権利、自由を守るための、捜査機関による情報の収集、保有、利用の濫用防止、消去などのルールの作成と、独立した第三者機関を設置する立法措置こそ必要であると考えます。

よって、本市議会は国に対し、刑事デジタル法の廃止を強く求めるものであります。

以上です。

○委員長（中島賢治君） 最後に、立憲民主・無所属さん、お願いいたします。亀井委員。

○委員（亀井琢磨君） では、ナンバー7の、米不足及び価格高騰への対策を求める意見書案でございます。

内容は記載のとおりでございますけれども、現在、我々の主食である米が不足しております。消費者、生活者からは悲鳴に近い声が上がっております。こうした状況について、農林水

産省は、令和5年の猛暑によって米が少なくなり、コロナ後の需要回復や、インバウンドの需要増で、消費が伸びたことが要因であったんですけども、しかし、今現在、備蓄米も放出されておりますけれども、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

我が国の農業は、御承知のとおり、担い手、後継者の不足や農地面積の減少等による生産基盤が脆弱化したことなどの様々な課題がある中で、米もこの間、離農が進んだり、資材の高騰で大変厳しい状況がございます。

今、改めてやはり農家への支援が必要ではないかと思っております。今年の5月に四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正されまして、この中では、国として食料をしっかりと確保していこうと、それから農業を持続的に発展させていこう、守っていこうということで改正法が施行されております。

改めて、食料安全保障は、良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ、国民一人一人がこれ入手できる状態ということでございますので、本当に食料を安定的に供給することが国の大きな責務と考えております。

そういうことで、要望事項は2つでございますが、1つは米不足、価格高騰の実態を踏まえて、生産者団体や流通・小売業界と協力し、店頭に必要な米が供給されるようにするとともに、消費者が合理的な価格で安心して米を入手することができるように対策を講じていただきたいことと、2つ目には、やはり、米の価格保障や、農家の皆さんの所得保障を充実させて、安定して米の生産を続けられる条件を整備していただきたいということの2項目でございます。

恐らく、各会派の先輩・同僚議員の皆さんにおかれましても、お米が高くて、どうなっていますかということが多分、市民の皆さんから多く耳にしているところだと思っております。状況は今、刻々と変化してはいますが、まだ先行きが少し見えない状況でございます。

私どもは、ともかく市民、国民の皆さんに米が行き届くようになって、安心して生活できるようになることと、やはり農業をいま一度応援することが大事かと思っておりますので、政権批判はあまり書いておりませんので、ぜひ、ここは全員野球で意見書案に御理解いただきまして、出せばありがたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員長（中島賢治君） お聞きのとおりであります。

御質疑等があればお願いいたします。桜井委員。

○委員（桜井秀夫君） ナンバー2の、日本共産党千葉市議会議員団が提出されました、暮らしを守るための緊急に消費税を減税するよう求める意見書案について、1点確認です。

表題で、緊急にという表現をわざわざ盛り込まれております。消費税はすごく重いというか、いろいろ税を変えるのも大変な作業だというイメージの中で、わざわざ緊急という表現を入れられたのですけれども、文章の中を見ても緊急と書いてあるのですけれども、時期をいつにしろなど、そういうことも特に書いていないので、どのような事業を想定されているか、あと、緊急というのは通常よりも早くということだと思っております。そうであれば、通常よりも早くする手続は、どのようなことを念頭に置かれてこういった文言にされたのかを教えてくださいと思います。お願いいたします。

○委員長（中島賢治君） 梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 御質問ありがとうございます。

もちろん時期の問題については国会の手続、法整備等々、あるいは事業者のシステムの変換など、一定の期間がかかるのは当然なことではありますが、とにかくにも、やはり今、物価高騰の苦しさが当然ながら高い中で、まさに我々は題名に即した部分で申し上げるならば、やはりこれは国会の正当な手続を取っていくことと併せて、かつて増税したときも一定の期間がかかるとは言われているものの、例えば、3か月等々でシステムの部分でも対応できるような話も聞いています。

ですから、そういう部分も含めて、しっかり事業者の皆様の御準備もしていただく中で、またその支援をしっかりしていく中で、速やかに消費税を減税していこうではないかという趣旨でございますので、御理解いただけたらと思います。

○委員長（中島賢治君） 桜井委員。

○委員（桜井秀夫君） 以上です。

○委員長（中島賢治君） ほかにございますか。梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 立憲民主・無所属提出の意見書案で、大変趣旨に賛同できる中身だと思っております、私もやはり、2番の趣旨がすごく大事だと考えています。これは、価格保障や、あるいは所得保障、これはかつて民主党時代にやっていたような中身なのか、まさにそういうのをもっと充実していくような趣旨なのか、その辺の趣旨というか、イメージを教えてください。

以上です。

○委員長（中島賢治君） 亀井委員。

○委員（亀井琢磨君） この本文のほうにも書いておりますけれども、消費者からすると米は安いほうが良いという観点でございますけれども、やはり農家にとっては価格が今、高いか、低いかというと、いろいろな見解がありまして、いろいろな声もありますけれども、1番目、合理的な価格でということは農家の収入も考えた上で安定させていこうということでございますので、質問が何か忘れてしまいました、すみません（「2番目の要望事項の内容について、民主党政権のときに進めていた内容を想定されているのか」と呼ぶ者あり）、私は立憲民主党ではないので、少し分からないですが、そういうことだと思います。とにかく応援する立場でございますので、そういうことでございます。

以上です。

○委員長（中島賢治君） 梶澤委員、いいですか。

○委員（梶澤洋平君） 大丈夫です。

○委員長（中島賢治君） ほかに。須藤委員。

○委員（須藤博文君） ナンバー6の関係で、刑事デジタル法は、確かにオンラインでの弁護人の接見ができない点では、なかなか弁護士会の思いが入れられなかったところは残念かと思うところなんですけれども、ただ、これは一方で、データ化されて証拠等々を謄写するときに、被告側や弁護側も、印刷で本当に40万円、50万円など印刷代がすごくかかるケースもあって、それが、今回デジタル法が改正されることによって解決される場所もあるので、この書き方だとかかなり一方的に被疑者被告人には不利なんですけれども、そこはそういうのも踏まえた上での意見書案の内容でしょうか。

○委員長（中島賢治君） 梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 確かにおっしゃるとおり、デジタル化に伴う利便面は十二分に一定ある法律だという認識はしているんですが、ただ、それ以上に今回の法律の課題での、例えば、犯罪と関係のない個人、団体の情報を捜査機関が収集、蓄積するのに、何の歯止めもなくなる危険性のほうが、むしろ今言われた利便性より危険性が高いと。例えば、通信の秘密を犯すような盗聴法でも、個人情報収集の不服申立機会を保障するための当事者への事後通知が必要なんですが、この法では本人に通知すらされない課題もあります。

だから、やはりそういう面でのリスクのほうが、今言われるベネフィットの面と帳尻を合わせても非常に危険性が高いと我々としては判断し、そういう趣旨で意見書案を提出させていただいたということでございます。

以上です。

○委員長（中島賢治君） 須藤委員。

○委員（須藤博文君） 今ので大丈夫です。

○委員長（中島賢治君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（中島賢治君） それでは、ないようですので、これらの意見書案につきましては、次回以降に御協議願いたいと存じます。

運営日程案について

○委員長（中島賢治君） 次に、運営日程案について、事務局より説明いたさせます。議会事務局次長。

○議会事務局次長 運営日程案につきまして、御説明申し上げます。引き続き着座にて失礼いたします。

サイドブックの資料1、配付書類の19ページをお開きいただきたいと存じます。

会期につきましては、6月5日木曜日から6月25日水曜日までの21日間を予定してございます。

開会日の6月5日木曜日は、午後1時開会でございます。

開会に先立ちまして、4月1日付の人事異動に伴う新任局部長等の紹介がございます。対象者は23名でございます。

開会後は、まず、市長の挨拶、諸般の報告、永年勤続議員の表彰状並びに感謝状の伝達式がございます。対象者につきましては、恐れ入ります、資料4、全国市議会議長会永年勤続議員表彰状並びに感謝状伝達を御覧いただきたいと存じます。

全国市議会議長会から、在職30年以上の特別表彰として、三須議員、石井議員、三瓶議員の3名の議員に、また、在職10年以上の一般表彰として、石川議長、三井議員、渡辺忍議員、梶澤議員の4名の議員に表彰状が参っております。また、石川議長には感謝状も参っております。

なお、桜井秀夫議員、青山議員につきましても、在職10年以上の一般表彰の対象でございますが、会派から永年勤続議員表彰を辞退したい旨の申入れがありましたことを御報告させていただきます。

伝達式に該当する議員の皆様への御周知をよろしくお願いいたします。

それでは、恐れ入ります、資料1、配付書類19ページの運営日程案にお戻りいただきたいと

存じます。

表彰状の伝達の後でございますが、会議録署名人の選任、会期の決定、大都市制度調査特別委員会委員長報告及び防災・減災対策調査特別委員長報告がございます。

そして、議案、発議の上程、提案理由の説明の後、最後に請願の委員会付託がございまして、この日は散会でございます。

6月5日の本会議散会後は議案研究を行っていただきますが、議案研究は6月6日金曜日の正午までに終了されるようお願いいたします。

議案研究の日程につきましては、当日配付させていただきます。なお、議案質疑の通告締切りは、6月6日の午後4時までとなっておりますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、6月6日金曜日の午後から6月10日火曜日までの日程でございます。この間に常任委員、議会運営委員及び調査特別委員の選任をお願いしたいと存じます。

なお、調査特別委員につきましては、常任委員と同様に改選することとなりますので、現委員につきましては、新委員選任と同日付で、辞任の手続きを取らせていただきます。

また、記載はされておませんが、監査委員につきましても選任をお願いし、選任と同日付で辞任の手続きを取らせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

6月6日金曜日の午後1時30分から幹事長会議を開催し、委員選任等の協議をお願いし、協議が整いましたら議会運営委員会を開催し、本会議の開催日時と議事の流れの協議をお願いいたします。

この間の本会議につきましては、幹事長会議での協議の状況によって開催されることとなりますので、6月6日の午後から6月10日までの間は、いつ本会議が開催されても支障のないよう、会派の皆様への周知をお願いいたします。

6月11日水曜日と6月12日木曜日の2日間は代表質問でございます。

6月11日は午後1時開議でございまして、2会派による代表質問がございます。なお、この日の午前11時開催の議会運営委員会は、意見書案の調整がございましたら開催させていただく予定で記載しております。開催しない場合は、中止の旨を御連絡させていただきます。

6月12日木曜日は午前10時開議でございまして、代表質問は2会派でございます。

6月13日金曜日は午後1時開議でございまして、議案質疑、そして常任委員会付託でございます。6月16日月曜日と6月17日火曜日は常任委員会でございます。

ページをおめぐりいただいて、20ページでございます。6月18日水曜日から6月24日火曜日までの5日間は一般質問でございます。質問者につきましては、運営日程案に記載のとおりでございます。

6月18日水曜日は午前10時開議、6月19日木曜日は午後1時開議、6月20日金曜日は午前10時開議でございます。

なお、6月20日は請願、陳情の2回目の締切りとさせていただいております。受付締切り時刻は午後5時まででございます。

6月23日月曜日は午後11時開議、6月24日火曜日は午前10時開議でございます。なお、6月24日の午後休憩時に、最終日の議事の流れ及び意見書案等の協議のため、議会運営委員会を開催させていただきたいと存じます。

最終日、6月25日水曜日は午後1時開議でございます。委員長報告、討論、採決をお願いし、

定例会は閉会でございます。

運営日程案につきましては、以上でございます。

○委員長（中島賢治君） ありがとうございます。

御質疑等があれば、お願いいたします。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（中島賢治君） ないようですので、以上のおり決定いたします。

それでは、執行部の方は御退出願います。

[副市長・総務局退室]

陳情第2号審査

○委員長（中島賢治君） 最後に、案件審査を行います。

陳情第2号・千葉市議会の録画放映の対象会議の拡大を求める陳情を議題といたします。

進め方の下段に記載のとおり、陳情第2号につきましては、陳情の一部訂正がありましたので、御承知願います。

なお、提出者より意見陳述の申出が参っておりますので、本休憩中に、意見陳述を実施いたします。

それでは審査の都合により、暫時休憩といたします。

午前11時32分休憩

午前11時43分開議

○委員長（中島賢治君） 休憩前に引き続き、委員会を開きます。

なお、会議を妨害した意見陳述人に申し上げます。

先ほど来、再三注意したにもかかわらず、なお委員長の命令にも従わないので、千葉市議会委員会傍聴規程第12条の規定により退場を命じます。（発言する者あり）

ではもう一度言います。休憩前に引き続き、委員会を開きます。

会議を妨害した意見陳述人に申し上げます。

先ほど来、再三注意したにもかかわらず、なお委員長の命令にも従わないので、千葉市議会委員会傍聴規程第12条の規定により退場を命じます。

もう退場。（発言する者あり）違う、退場なの、あなたはもう……（発言する者あり）だから今再開したの……（発言する者あり）退場。会議を進められないから。

会議を進められないので、早く退場してください。今も再三妨害しています。会議を進められないんですよ。

もう一度言います。会議を妨害した意見陳述人に申し上げます。現在、会議を妨害しておりますので、先ほど来、再三再四注意したにもかかわらず、なお委員長の命令にも従いませんので、千葉市議会委員会傍聴規程第12条の規定により退場を命じます。

委員の皆様にご連絡いたします。

会議が進められませんので、暫時休憩といたします。また、再開につきましては追って御連

絡いたしますので、よろしく申し上げます。

午前11時51分休憩

午後1時0分開議

○委員長（中島賢治君） 休憩前に引き続き委員会を開きます。

陳情第2号に関する当局からの参考説明はありませんので、質疑に入りたいと思います。

それでは、質疑がありましたらお願いいたします。梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 事務方のほうに確認だけさせていただきたいと思います。

先ほど来の対応については非常に遺憾だとは申し上げておきたいと思いますが、ルールをやはり守っていただく必要があるということは申し上げておきます。

ただ、中身については、確認したいと思います。

ここで陳述者が要望している、例えば、議会運営委員会や広報委員会をインターネット中継することになったときの、実務上の対応については確認したいと思っております。

その点で、例えば、人数がどれぐらい必要になるか、あるいは予算がどれぐらい必要になるのかなど、その辺の実務上の課題はどのような認識になりますでしょうか。

○委員長（中島賢治君） 議会事務局次長。

○議会事務局次長 今、梶澤議員の御質問の内容でございますが、今回、陳情がございました分科会、議会運営委員会、そして広報委員会と、あと、公開の協議というところは、議会運営活性化推進協議会などを指しているのかと思ひまして、こちらの実績を考えますと、年間で約170万円の増という予算の想定をしております。

そして人手につきましては、今の常任委員会の対応でやっておりますように、通常の担当書記と、やはりプラスして中継担当が必ずここには入るということで、その会議が開催されるごとに必要になると想定しております。

○委員長（中島賢治君） 梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） では、例えば、議会運営委員会を中継するとなったら、プラス1名が必要になるという認識なのでしょうか。

○委員長（中島賢治君） 事務局次長。

○議会事務局次長 中継担当として1人必要と想定しております。

○委員長（中島賢治君） 梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 分かりました。

あと、これは全体的、全国的な傾向としてお聞きしたかったのですが、今、議会運営委員会などをインターネット中継されている政令市の実態はどうなっていますか。

○委員長（中島賢治君） 事務局次長。

○議会事務局次長 今、20市の政令市の中で、6市ほどが議会運営委員会を対象としていることを確認しております。

以上でございます。

○委員長（中島賢治君） 梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 分かりました。

質疑は以上です。

○委員長（中島賢治君） ほかにございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（中島賢治君） ほかに御発言がなければ、質疑を終了いたします。

次に、本陳情に対する賛否表明、意見要望があれば御発言をお願いいたします。桜井委員。

○委員（桜井秀夫君） 市民の方に対して、議会の運営をできるだけ公開していくという基本的な姿勢は共有できるところがあるのですけれども、当然具体的な条件を整えればというところではあるのかと思っています。

私たちの議会でも、6月から委員会室で生中継が始まるといったところで、今日も不測の事態が起きましたけれども、やはりそういった体制をしっかりと整える、そこで円滑にできるようにする、そういったものも整備すると。まずは新しく取り組む生中継、これを運営していく、安定させていくことが優先されるかと思っておりますので、まずはそこをしっかりとやりたいと思っておりますので、この案件については採択しかねる次第でございます。

以上です。

○委員長（中島賢治君） ほかに。亀井委員。

○委員（亀井琢磨君） 会派といたしましても、市政の情報公開や情報の発信など、市民に開かれたものにしていくことは当然思っておりますけれども、そういう中で、市議会においてはこの間、従前の本会議の生中継、録画放映から、常任委員会の録画放映、生中継ということで議会の各会派等で大いに議論され、お互いに合意形成を図りながら対象の拡大を図ってきたと理解しておりますし、その歩みはこれからもまた議論しながら続いていくのかと思っております。

ですので、今、常任委員会の配信でその効果検証や課題整理をするということだったかと思っておりますので、それを丁寧に重ねて次の段階があるかと思っております。今回の陳情につきましては、今、ほかの委員からもありましたけれども、費用の観点や、やはり全体の合意形成も大事かと思っておりますので、当会派といたしましては、今後に活かしていくというようなことで、賛同はいたしかねるということで結論が得られておりますので、以上で、申し上げます。

○委員長（中島賢治君） ほかに。梶澤委員。

○委員（梶澤洋平君） 私どもは、かねてからこの議会運営委員会を含めた情報公開は、議会改革等々でも発言をさせてきていただいたとおりでございまして、先ほどもあったとおり、政令市でも一定、そういう情報公開も進んできているということと、私どもはやはり、例えば、先ほど来あった意見書案のやり取り、あれは本来は、市民の皆様方になぜそれが賛成なのか、反対なのか否かを含めて、情報公開を図っていく必要はあるんだろうという立場であります。

ですから、費用の面、そしてマンパワー、職員の皆さんの御負担も一定かかってしまいますが、そこら辺はまたしっかりと協議をしていく立場ではあります。我々としては、ぜひ一歩でも二歩でも情報公開を進めていきたいという考えでございますので、先ほど来の対応については、我々は絶対に抗議をしたいと思っておりますが、中身としては賛意を示したいと思っております。

以上です。

○委員長（中島賢治君） ほかにございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（中島賢治君） それでは、ほかに御発言がなければ採決いたします。

お諮りいたします。陳情第2号・千葉市議会の録画放映の対象会議の拡大を求める陳情を採択送付することに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○委員長（中島賢治君） 賛成少数。よって、陳情第2号は不採択と決しました。

以上で、案件審査を終わります。

これをもちまして、議会運営委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午後1時6分散会